

## 続・診療所外来での COVID-19 陰性の発熱

本康医院 本康宗信・静岡薬剤耐性菌制御チーム  
静岡県立静岡がんセンター 感染症内科 倉井華子

COVID-19 は第 8 波の最中ですが、オミクロン対応ワクチンの接種後では、臨床症状は軽微な方も多くなっています。2022 年 8 月の通報 113 (<https://hamamatsushi-naika.com/files/113.pdf>) では、COVID-19 陰性例の気道疾患について情報共有をさせていただきました。消化器症状を伴う高熱では、ノロウイルスと考えられる感染性胃腸炎も増加しています。また流行期を迎えたインフルエンザでも消化器症状の出ることがあります。COVID-19 を心配されて来院される方は、PCR や抗原検査が陰性だと安心されますが、医療者は他の原因微生物による感染症や非感染症の発熱も考慮する必要があります。COVID-19 の若年者では嘔気、下痢が比較的多く見られます<sup>1)</sup>。そのため発熱と消化器症状でも、COVID-19 を除外するのは難しいところがあります。第 7～8 波中に経験した COVID-19 を心配されて来院された陰性例で、発熱と消化器症状を示した症例を提示します。

## 1. 10 代男性 ワクチン 3 回接種

倦怠感と 38℃台の発熱で来院、SARS-CoV-2 抗原検査は陰性でした。対症療法 3 日後、38 度後半の発熱持続、再度、抗原検査は陰性、その頃から腹痛、下痢が出現。対症療法でも、症状は不変。気道症状は出現せず。血液培養は陰性、便培養でも常在菌のみでした。便のグラム染色では、赤血球が散在、白血球は認められませんでした。2 週間近い発熱で、精査がされ、エコーで回盲部の腸管壁腫脹、内視鏡で縦走潰瘍が認められ、クローン病と診断されました。

炎症性腸疾患は、発熱や関節痛など腸管外症状を合併することがあり、成人でも小児でも不明熱の原因となります<sup>2)</sup>。成人発症に比べ、小児期発症はより重篤とされるので注意が必要です。

## 2. 10 代男性 ワクチン 3 回接種

発熱と倦怠感で来院。数日前にフェスに行ったということで COVID-19 を心配されて来院、SARS-CoV-2 抗原検査は陰性でした。発熱 2 日後から水様性下痢があったとのことでした。便のグラム染色では、多核白血球、らせん状のグラム陰性小桿菌が認められました(図 1)。来院時の疲弊感が強く、培養提出後に AZM を開始しました。培養結果は *Campylobacter jejuni* でした。

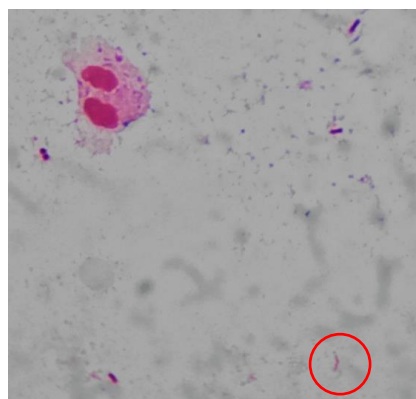


図 1 便グラム染色 多核白血球の右下方に Gull-wing 様のグラム陰性桿菌が認められる(赤丸)  
(右図 拡大回転像)

カンピロバクター感染症では、消化器症状の出現する 24 時間前までに 40℃程度の発熱、頭痛、筋肉痛などが見られます。便中には多核白血球、赤血球が認められるため、検鏡が有用ですが、培養には特別な培地が必要ですので、検査室に目的菌として伝えておく必要があります。またこの細菌は、室温では急速に死滅するので、低温で保存し迅速に検査を行うことが望ましいです。

### 3. 10 歳未満 女児 ワクチン未接種 (4 か月前に COVID-19 罹患)

38℃台の発熱と嘔気、腹痛が生じ、受診、SARS-CoV-2、インフルエンザ抗原検査は陰性、対症療法となりました。2 日で解熱しましたが、その後、顔面、頸部、体幹に水疱が出現し再診。水痘ワクチンは 2 回接種済でしたが、皮疹から水痘と診断し、バラシクロビルにて治療を行いました。その後、同級生に水痘の発症が認められました。

小児の水痘では、約半数で皮疹出現の 24～48 時間前に前駆症状として発熱、倦怠感、頭痛などの症状が見られます<sup>3)</sup>。また咽頭痛や胃痛を伴うことがあり、38℃台の発熱が数日続くことがあります。免疫不全患者では、激しい腹部、背部痛が見られることがあり、注意が必要です<sup>4)</sup>。

いずれも鑑別診断はそんなに複雑ではなく、ご経験豊かな先生方には容易に診断がつくと思います。COVID-19 が心配で来院される方は依然として多く、検査陰性であれば、さらに詳しい問診や診察の上、適度な間隔でフォローをされていると思います。ただ発熱や症状が続くと検査偽陰性を心配し、再検査目的で受診されることもあるため、起因微生物をできるだけ明らかにしたいところです。PCR、抗原検査陰性例で、必ずしも抗菌薬投与とはなりません、使用する場合には起因微生物を推定することが必要です。

1) 齋藤昭彦 編:新型コロナウイルス感染症 458-460 レジデントのための小児感染症診療マニュアル 医学書院 2022

2) Haidar G, Singh N: Fever of Unknown Origin. N Engl J Med 2022; 386:463-477 PMID: 35108471

3) 齋藤昭彦 編:水痘・帯状疱疹ウイルス 501-506 レジデントのための小児感染症診療マニュアル 医学書院 2022

4) Weinberg JM: Varicella-zoster virus. 1233-1239 Schlossberg's Clinical Infectious Disease 3rd Ed. Oxford University Press 2022